

地域協働型土木行政推進事業(土木未来チャレンジ事業) 事業一覧(H19~H21)

No	事務所名	年度	内容	活動の相手方	活動目的および活動内容
1	豊後高田土木事務所	19	「昭和のまち」をキーワードにした橋梁架橋、川のありかた検討	桂川を未来へつなく会・市商工会・漁協等	桂川に関わる人々は多種多様であり、年間を通しての活動スケジュールを相互に把握できていない。今回、桂川に対する様々な思いを、予定表とともに整理し、河川整備計画だけでなく地域活動にも活用出来るようにする。
2	豊後高田土木事務所	20	海岸愛護美化啓発活動	足利 由紀子代表NPO法人水辺で遊ぶ会・真玉中学校・豊後高田市役所	中津市で活動を主とするNPO法人に、実際の多種多様な活動実績と豊富な研究で得た知識を講演してもらうことにより、将来の地域を担う学生にとって、身近な環境である真玉海岸を始めとする水辺環境への理解を深めてもらい、郷土愛の醸成及び土木建築行政との積極的な参画を期待するものである。
3	豊後高田土木事務所	20	田染小学校「土木未来教室」	田染小学校生徒、桂川を未来へつなく会、市商工会等	「土木の日」を契機に、土木建築行政に関心をもってもらうとともに、事業における市民と行政のあり方を模索する。
4	豊後高田土木事務所	21	桂川河川観察会	田染小学校、桂川内水面漁協	桂川の堰改修工事を契機に、子どもに川とのふれあいの場を提供し、河川愛護精神の醸成を図る。現堰の撤去により水位が下がるため魚類の採捕調査を行い、川にどのような魚が生息しているかの観察会を行う。
5	豊後高田土木事務所	21	石部新田灌漑用水路保存活動	豊後高田商工会議所、豊後高田市役所	地元、商工会議所、豊後高田市と一緒に明治初期に造られた洞窟(用水路)を保存、PRし新たな観光資源としての可能性を探る。
6	豊後高田土木事務所	21	地域住民への防災講演会	豊後高田市、建設業協会、自治会長、大分県社会福祉協議会 大分県ボランティア・市民活動センター等	土木の日(11月18日)の関連行事として、道路愛護ボランティア団体等への表彰式にあわせて防災に関する講演会を行うものである。講演では被災地が復旧に至るまでの過酷さ、災害の残酷さを生の声で聞くことができ、いかに日頃からの準備が大切かと言うことを感じた。
7	国東土木事務所	19	空港施設UD化ワークショップ	NPO法人自立支援センターおおいた	全国障害者スポーツ大会及び国民体育大会に向け、障がい当事者の意見を反映した誰でも使い勝手の良い(ユニバーサルデザイン化)空港施設を整備する。
8	国東土木事務所	19	社会資本整備のあり方意見交換会	国東市役所技術職員、姫島村役場技術職員、大分県建設業組合国東支部	土木遺産を学ぶことで新たな視点・発想の創出を図る(温故知新)。このことにより、今後の社会資本整備のあり方や技術力、品質管理、安全管理など多様な視点から関係職員間で意見交換を行い、国東土木管内における新たな社会資本整備の企画検討の一材料とする
9	国東土木事務所	21	京一川砂防ダム事業竣工記念	地元自治会	平成20年度に京一川砂防ダムが完成し、防災機能が充実したことを地域で共感するために地元主催の竣工式を実施するもの。この竣工式において、地域と協力し植樹を実施するなど、土木施設の重要性を共感する。
10	国東土木事務所	21	武蔵川ホテイアオイ除去活動	武蔵川が流れる関係自治区(6自治区)	川本来の機能回復を目的に、地域と協働作業で異常繁殖していたホテイアオイ等の外来植物を除去を行い、今後の異常繁殖を防ぐため、地域と協働で川を守るために監視体制の仕組みを構築するもの。
11	別府土木事務所	19	一般県道 別府山香線(歩道新設工事)	自治会長	歩道新設の要望を受けているが、歩道計画は、連続して設置することが原則であるため、区間内の地権者及び関係者の事前の合意形成を図っていく。
12	別府土木事務所	20	千代町地区防災訓練	千代町自治会、地域環境ネットワーク、福祉フォーラムin別府・速見委員会	災害時に円滑な避難ができるようにするために千代町で避難訓練を実施し、地域住民やボランティア参加者と避難路や避難場所の検証をし、携帯電話を活用して危険箇所マップを作成する。また、訓練を通して地域住民の助け合い、要援護者への避難支援を啓発する。
13	別府土木事務所	21	境川(砂防修繕事業)環境美化活動	境川を守る会、境川小学校、自治会、別府市、県振興局	事業への理解を深めてもらいながら、環境美化活動への住民参加を促すことを目的に、河川内のコケや生活排水による汚れが目立っていた砂防修繕工事実施箇所において、水質改善や生態系復元の学習や美化活動を行うもの。
14	大分土木事務所	20	改良に伴う海浜の扱い意見交換	地区住民	一般国道217号白木地区にて道路改良を行うこととしているが、この工事により海浜の一部(白木漁港南側)が埋め立てにより消失することとなった。事業説明会にて工事に対する概ねの理解は得ているが、残された海浜の利用及び周辺整備について多くの意見・要望があった。このため、地区住民と協議を行い意見・要望の整理をし、事業の理解を高める。

地域協働型土木行政推進事業(土木未来チャレンジ事業) 事業一覧(H19~H21)

No	事務所名	年度	内容	活動の相手方	活動目的および活動内容
15	大分土木事務所	21	国道197号現場見学会(古宮~小志木工区)	大分県立佐伯鶴岡高等学校	就職や進学等これからの方向を決める上で、重要な時期の高校3年生を対象とした現場見学会を行い、土木工事の現場や施工機械を実際に見てもらうことにより、大分県の土木建築行政に興味や関心をもってもらうもの。
16	臼杵土木事務所	19	臼杵港(海岸)クリーンアップ作戦	地元住民、海洋科学高校、海辺小学校、青少年健全育成会、自治会、臼杵市、県臼杵土木事務所	台風5号等により打ち寄せられた流木等のゴミなどを除去し、美しい臼杵の海岸を守る意識醸成を目的に、臼杵地域漂着物処理対策協議会の主催で、小学生や高校生も含む地域住民等と海岸清掃活動を行う。
17	臼杵土木事務所	20	小学校現場見学会	津久見市立千怒小学校	津久見市千怒~日見間は、平成13年度より工事着手し、平成19年度には新日見トンネル(L=1,350m)が完了し、平成20年7月には暫定的に供用を開始する。この開通に併せて、バイパスの近傍小学校である千怒小学校の生徒約35名を現地に招き、土木への興味を持ってもらうため、工事(事業)説明を行う。また、土木工事(行政)をより身近に感じてもらうために、供用前のバイパス区間(特にトンネル内)で、なわとびや一輪車等のレクリエーションを行う。
18	臼杵土木事務所	20	津久見市活性化検討会	臼杵市、津久見市、臼杵土木事務所職員	多様化する住民ニーズを、限られた予算の中での確に反映するには、合意形成手法の習得と職員の意識向上が必要である。このため、臼杵市、津久見市及び土木事務所の職員を対象に、外部講師を招いた「住民参加型行政研修会」を開催する。研修会にて得た知識を用いて、市マスタープラン策定を予定している津久見市をモデルに、インフラ整備のあり方を中心に市民と意見交換会を開催し、観光・産業・商業など横断的な観点からの地域活性化方策を探る。その検討結果を公表することにより、官民一体となった行政の推進につなげることを目的とする。
19	佐伯土木事務所	19	「土木の日」関連行事	佐伯市教育委員会 佐伯市立昭和中学校	進路を決める重要な世代である中学生を対象とした土木出前講座&現場見学を開催することで、土木建築行政への関心と興味を持ってもらい、今後の進路を決める上での参考にしてもらう。
20	佐伯土木事務所	19	佐伯市の地域活性化とインフラ整備	佐伯市(企画観光担当、建設担当)、県振興局(地域振興班)、まちづくり・観光・物流の代表者	合併により九州で一番広い市となった佐伯市における今後の地域活性化について、インフラ整備のあり方を中心に観光・産業・商業など横断的な観点から方策を探る。
21	豊後大野土木事務所	19	管内道路ネットワークとまちづくり資源(道路全般と観光施設等)	県(土木+振興局関係各部)、市(関係各部+総合計画の作業部会担当者)、地域住民(まちづくり委員、女性の会等)	地域住民の意見を取り入れ、豊後大野市における今後の道路整備のあり方を探究する。また、県(土木・振興局)、市、民間の協働で実施することにより、協働体制の基盤をつくと共に道づくりに対する価値観の共有を図る。
22	豊後大野土木事務所	20	大分県総合防災訓練	県(土木+振興局関係各部)、市(関係各部)及び参加防災関係機関	平成20年6月8日に豊後大野市緒方町で豊後大野市主催の大分県総合防災訓練が行われた。防災関係機関、地域住民等多数の来場者に、土木事務所の日頃の防災に対する取り組み、対策等をビデオ映写、パネル展示、防災資料配付等を行い、土木事務所のPRを図る。
23	豊後大野土木事務所	20	管内道路ネットワーク検討会	県機関と豊後大野市および市民	平成19年度に、県(土木、振興局)、市、市民(おおの女性の会、まちづくり委員会)との協働により、1.5車線の道路整備も視野に入れた今後の道路整備のあり方を検討を行った。平成22年度も引き続き、市民を交えた検討会を開催し、道づくりに対する価値観の共有を図ると共に、官民の協働体制の基盤づくりを行う。
24	豊後大野土木事務所	21	管内道路ネットワーク検討会	豊後大野市、地域団体(各路線期成会、おおの女性の会)	平成19~20年度に実施した「豊後大野みちづくり検討会」において、市、地域団体(各種期成会、おおの女性の会)と検討を重ね、道路整備に対する価値観の共有と、協働体制の基盤づくりを図った。平成21年度は、更なる道路整備に係る価値観の共有と、協働体制の確立を目指し、県の道路事業の内容(採択基準、予算規模等)などのより詳細な情報を提供した上で、豊後大野市におけるみちづくりのあり方を協働で検討会を実施するもの。
25	豊後大野土木事務所	21	宇目清川線道路整備意見交換会	沿線地区住民、白山川を守る会、白山簡易郵便局、稲積水中鍾乳洞、おおの女性の会 豊後大野市	主要地方道宇目清川線の未改良区間について、沿線地域住民と道路整備の優先度等について検討し、今後の整備方針立案の参考資料にするともに、道路整備に対する価値観の共有化や協働体制の基盤づくりを行った。
26	竹田土木事務所	19	道路整備計画住民ワークショップ	関係施設、久住観光協会・商工会、久住「YOU」花の会(ボランティアで植栽活動)、竹田市商工観光課、大分県豊肥振興局地域振興部	観光道路としての役目を担っている各道路には、草原景観を行かした道路空間の整備が求められている。そこで、完成後の観光客への広報活動や沿道整備について地元関係者間で話しあう場を設けるとともに、工事時期、規制対応等を検討し道路事業への理解を深める。

地域協働型土木行政推進事業(土木未来チャレンジ事業) 事業一覧(H19~H21)

No	事務所名	年度	内容	活動の相手方	活動目的および活動内容
27	竹田土木事務所	21	庄内久住線道路整備意見交換会	小津留地区自治会および住民、竹田市直入支所	庄内久住線に併設する「水の駅おづる」について、県道のパイプ化による利用形態の変更等の調整、また残地の有効利用として公園的整備の意見がある。県・地区・竹田市の三者で協議し、地元主体で管理ができる整備手法を検討するもの。
28	竹田土木事務所	21	穴井迫萩線道路整備意見交換会	政所地区自治会および住民	「利用者のニーズに沿った道づくり」を目指し、道路改良事業の測量・設計の段階から、地域住民と現道の問題点を共有し、対応策の検討を行う。地域住民の方々にとっても、「自分たちで計画した道」という道路への愛着が湧くような道づくりを目指すもの。
29	玖珠土木事務所	19	美しい玖珠川をつくる	フラワーネットワーク(玖珠川河川敷、道路等へ花の植栽、管理を行っている団体)	官・民が連携・協働して、既存の河川環境整備計画の整理・見直し(総点検)を行い、治水上及び河川利用者の安全性・自然環境・景観・親水性・維持管理等を考慮した「玖珠川づくり基本計画」を策定し、実施に向け活動する。
30	玖珠土木事務所	21	玖珠川河川整備意見交換会	たのしい玖珠川をつくる会自治会(玖珠地区、北山田地区、塚脇地区、小田地区)、婦人会、森脇小学校、PTA(塚脇小、小田小、北山田小)、商工会、観光協会、漁協、森林組合、農協、消防団、土地改良区、グランドゴルフ会、ジュニア陸上クラブ、三日月の滝周辺活性化協議	玖珠町の中心部に位置し、童話祭やレクリエーションに活用される玖珠川では、地域住民に親しまれる川づくりを目的に、「玖珠川づくり基本構想」が策定されている。この基本構想を実現するため、官民が協働し、三日月の滝周辺地域の状況把握を行い、問題点などについて地域と共有するため、意見交換を行うもの。
31	日田土木事務所	19	市ノ瀬川意見交換会	日田林工生及び地区住民	地元より河川整備要望が出ているが、事業を進めるにあたり、住民と協働して事業の必要性や整備方針を検討するための意見交換会や現地調査を行う。また、土木科を有する日田林工と協働し生徒に土木事業の一端を体験させる。
32	日田土木事務所	20	市ノ瀬川地域住民とのワークショップ	地区住民	地元から河川内の草刈りが容易になるような河川整備に対する強い要望を受けている。地元住民が求める真に必要な河川整備手法を検討するために、地元住民と日田土木事務所職員が協働して草刈り作業を行い、草刈りを容易にするために必要な河川整備とは何かを検討するワークショップを行う。
33	日田土木事務所	21	日田市防災訓練における啓発活動	振興局関係各部、市役所、防災関係機関	日田市筑後川(三隈川)石井町河川敷で日田市主催の大分県総合防災訓練を実施にあわせ、県(土木・振興局)、市、防災関係機関、地域住民等で多数来場者に対し、土木事務所の日頃の防災に対する取組み、対策等をパネル展示、模型実験等を行い、土木事務所のPRを図るもの。
34	中津土木事務所	19	中津山国自転車道線勉強会	国土交通省山国河川事務所、中津市(観光部門+団体部門)、北部振興局、豊前の國建設倶楽部(NPO)、山国川流域連携会議、観光協会、管内商工会・商工会議所、サイクリング協会	サイクリング道路と隣接する山国川と地域の連携の場として、長期的に情報交換、情報発信をする。サイクリングロードを地域振興、観光振興に活用する方法について検討する場として、活用策について勉強会を開催する。
35	中津土木事務所	19	都市計画道路 宮永角木線	自治会長、関係自治区自治委員、NPO中津地方文化研究所、中津祇園保存協議会、国土交通省山国河川事務所、中津市	都市計画道路宮永角木線は、福沢諭吉旧居や中津城などの周辺に位置し、歴史的にも重要度の高い区域である。地域にとって重要度の高い路線を事業化するにあたり、事業着手前段階で住民参加による意見交換会を開催し、地域住民と協働による道路行政を実現する。
36	中津土木事務所	19	水サミットシンポジウム	NPO法人水辺に遊ぶ会、NPO法人おおいた生物多様性保全センター、中津エスカーション実行委員会、東京大学、アジア河川・流域再生ネットワーク、国土交通省九州地方整備山国河川事務所、中津市、大分県企画振興部、地域住民	地域課題について、行政と地域住民等が共通認識を持つための勉強会やシンポジウムの開催 ・アジア・太平洋水サミットを機会に、水と生きものと人の関係について考える。
37	中津土木事務所	20	中津日田道路開通～地域への開放	中津商工会議所、JR九州、ダイハツ九州、中津地方農村女性集団連絡協議会、中津ウォーキング協会など	中津日田道路は、大分県が進める広域の交通体系整備の一翼として、県北地区と県西部を結ぶ自動車専用道路である。県道中津高田線から国道10号の間の開通に伴い、住民の意識調査を実施することにより、今後の事業説明や事業広報活動の参考にし、円滑な事業展開を図ることを目的とする。
38	中津土木事務所	20	防災社会実験～地域FM局との防災協定	株式会社 FMなかつ、中津市	中津日田開通イベント会場にサテライトスタジオを設置し、通常の放送を行いながら、随時交通情報等を放送することにより、住民に情報提供を行うとともに、今後災害等が発生した場合を想定し、現地からのリアルタイムなニュース提供の可能性を模索する。また、一般住民の関心度合い等を直に確認し、今後の情報提供の方法や内容について、検討する資料とする。
39	中津土木事務所	21	天貝川現場見学会	中津市和田小学校、教諭及び児童	公共事業(特に土木事業)について、広く理解し、これからも愛着を持ってもらうため、橋本版見本の作成及び設置を地元小学校と共に実施し、大分県の土木建築行政に興味や関心をもってもらう。

地域協働型土木行政推進事業(土木未来チャレンジ事業) 事業一覧(H19～H21)

No	事務所名	年度	内容	活動の相手方	活動目的および活動内容
40	中津土木事務所	21	中津港大新田地区海岸(干潟)協議会	大新田地区環境整備協議会(中津の海と人を考える協議会)地区代表、学識経験者、希望者等	中津港周辺海域には、干潟が存在しているが、工事後の水質変化や地形の改変による影響の状態を干潟域における代表的な生物の生息状況により評価するモニタリング調査を行い、地域の協議会において意見交換を行った。
41	中津土木事務所	21	主要地方道森耶馬溪線交通処理計画検討会	沿線地域住民	現況道路は、山と川に挟まれており幅員が狭いため、特に秋季の観光シーズンには車両の離合に支障をきたしている。しかし、この地域は自然景観が優れた地域で、名勝耶馬(厳正保存地区)や耶馬日田英彦山国定公園(特別保護地区)等にも該当しているため、抜本的なハード対策が難しいことから、地域住民と意見交換を行い、ソフト対策を検討、社会実験を行うための交通処理計画を作成するもの。
42	竹田ダム建設事務所	19	稲葉ダム現地見学会	宮城小学校児童、白丹小学校児童、稲葉ダム周辺地域自治会、竹田水害緊急治水ダム建設協議会	日頃よりダム事業に理解と協力を頂いている周辺地域の人、主に子供達を対象として見学会を開催し、ダムに対する更なる理解と憧憬を深めてもらう。
43	竹田ダム建設事務所	20	稲葉ダム小学生見学会	稲葉ダム地域振興協議会・稲葉ダム対策協議会(稲葉ダムの地権者協議会)、竹田水害緊急治水ダム建設協議会、稲葉ダム安全衛生連絡協議会	竹田市内の子ども達に、過去大災害を被った竹田市における治水ダム建設の重要性を理解してもらうとともに、防災に対する意識を高めてもらう。また、美しい竹田を守る心、地域を愛する心を育てるもの。
44	竹田ダム建設事務所	21	稲葉ダム周辺環境整備検討委員会	稲葉ダム地域振興協議会・稲葉ダム対策協議会(稲葉ダムの地権者協議会)、YOU花の会、竹田市商工会青年部、竹田市役所	地域の創意工夫を活かし、ダムの地域への開放を一層進め、ダムが地域にとって密着した施設となるよう地域住民と意見交換を行い、実施計画を作成する。
45	竹田ダム建設事務所	21	稲葉ダム見学会	稲葉ダム地域振興協議会・稲葉ダム対策協議会(稲葉ダムの地権者協議会)、竹田水害緊急治水ダム建設協議会、稲葉ダム安全衛生連絡協議会、竹田市教育委員会	竹田市内の学校を対象に治水ダム建設の重要性を理解してもらい、防災に対する意識を高めてもらう見学会を実施した。また、平成22年度の稲葉ダム完成にむけて、地元可愛され、更なる理解を深めてもらうために地域住民を対象とした説明会もあわせて実施するもの。